

夕刊 新 城 磐 行發日十月三年三第 (日曜土) 定価 一冊五銭 三冊一圓二銭 六冊二圓二銭 一冊五銭 三冊一圓二銭 六冊二圓二銭

似面非唯物史觀 大友 武

マルクス主義者にして、かゝる非マルクス主義的思ひで觀念論的態度を棄て去るの展開は、明らかにマルクス主義からの逸脱であり、ブルジョア階級への覆面のから辯證法的唯物論を抹殺して、經濟史觀と解し如るの如きに對しても、われわれは決して寛大であつてはならないと思ふ

故郷の正月 福田 廣 宣

○正月 ぬづらしく私が家系圖にある家具は歴史に古く、めでたらしい

浪人長屋 日岐武志 作 月草道子 書

「権吉、またしくじつたあつたの合圖を待てと、あれほどいってをいたものを

創異性 木津茂太郎

静也は家へも歸らず寂しい歩みで何時か谷と語つて歩いたら川の河岸の方へ取つた。静也は考へた、自分此の戀は世に言ふ片戀と云ふ物かも知れない。...



花 我が戀の悲しき

花の戀に酔つたこの花、つかり自分を盗まされて、移りゆく氣な蝶と仲間を

社會の今日

「お待ちはいよいよにッ」と、お蝶は、強いて

悪奴は、みんなこんな

「悪奴は、みんなこんなからぬ、あ、それがいい」

お蝶は、強いて

「お蝶は、強いて、お蝶は、強いて、お蝶は、強いて」

お蝶は、強いて

「お蝶は、強いて、お蝶は、強いて、お蝶は、強いて」

お蝶は、強いて

「お蝶は、強いて、お蝶は、強いて、お蝶は、強いて」

お蝶は、強いて

「お蝶は、強いて、お蝶は、強いて、お蝶は、強いて」

お蝶は、強いて

「お蝶は、強いて、お蝶は、強いて、お蝶は、強いて」

お蝶は、強いて

「お蝶は、強いて、お蝶は、強いて、お蝶は、強いて」

お蝶は、強いて

「お蝶は、強いて、お蝶は、強いて、お蝶は、強いて」

お蝶は、強いて

「お蝶は、強いて、お蝶は、強いて、お蝶は、強いて」

お蝶は、強いて

「お蝶は、強いて、お蝶は、強いて、お蝶は、強いて」

お蝶は、強いて

「お蝶は、強いて、お蝶は、強いて、お蝶は、強いて」

お蝶は、強いて

「お蝶は、強いて、お蝶は、強いて、お蝶は、強いて」

お蝶は、強いて

「お蝶は、強いて、お蝶は、強いて、お蝶は、強いて」

お蝶は、強いて

「お蝶は、強いて、お蝶は、強いて、お蝶は、強いて」

お蝶は、強いて

「お蝶は、強いて、お蝶は、強いて、お蝶は、強いて」

お蝶は、強いて

「お蝶は、強いて、お蝶は、強いて、お蝶は、強いて」

紙屋印刷所 開店披露 美味で評判のイワキサロン 平町電三五二

新車御披露 三井タクシー 御通學にはフタバの自轉車で 成田山修護行團體募集

社員招聘 三井生命保險株式會社 生花教授 須藤まゆの 銘木建築木材 余織田材木商店

